

拝啓、前原国土交通大臣 様

ハッ場ダム、霞ヶ浦導水、南摩ダム(思川開発)、湯西川ダムはいりません！
しっかりと中止してください。

――「ハッ場ダムの中止と現地住民の生活再建早期実施を求める署名」にご協力ください――

誰が払うの!?

子や孫にまで続く負の遺産

現在、1都5県の水余りは1日400万トン以上。四つのダムの開発水量を加えると600万トン以上になります。私たち1人当たりへの水道給水量は、飲み水、炊事、洗濯、お風呂、トイレなど、1年でいちばん使う時でも1日約400リットルですから、1500万人分以上の水余りになります。貴重な自然を破壊し、無駄な水源開発をするツケは、高い水道料金と税金になって、私たちはもちろん、子や孫、その先々まで払い続けることになるのです。いま私たちが止めなければ、誰も止められません。

洪水対策に必要?

実際の洪水流量は、国交省の計算値の半分程度

国交省の氾濫計算では、カスリーン台風と同規模の洪水が発生すると、河口から136km地点の右岸、埼玉県大利根町の堤防が決壊するとしています。さいたま地裁に提訴された行政訴訟の資料の中で国交省の作った治水の基準点の上流54流域の飽和雨量は全流域すべてが過大な数値に統一されていることが明らかになり、実際最近50年で最大の洪水、平成10年洪水の最高水位は、同地点の堤防のてっぺんから5mも下を、十分な余裕をもって流れていました。

ハッ場ダムの治水効果は小さくて、利根川の治水対策は、まず堤防整備をするべきでしょう。

無駄です!! 四ダムの総事業費なんと1兆8000億円。(起債利息込み)

四事業の都県と国の負担額 (単位:億円 1人当りは円)

	ハッ場 ダム	霞ヶ浦 導水	湯西川 ダム	南摩 ダム	合計	1人当り 負担額
東京	850	66		105	1,021	8,062
千葉	505	114	535	174	1,328	21,848
埼玉	804	33		177	1,014	14,339
茨城	262	595	276	139	1,272	42,806
栃木	10		189	297	496	24,634
群馬	234				234	11,578
計	2,665	808	1,000	892	5,365	16,348
国負担	3,181	1,092	1,147	1,209	6,629	
合計	5,864	1,900	2,147	2,101	11,994	

※左の表の金額は、建設事業費+水源地域対策基金+事業+水源地域対策特別措置法+起債利息は含まれていません。

申し入れ団体：ハッ場あしたの会 (<http://yamba-net.org/> オンライン署名もあります)

ハッ場ダムをストップさせる市民連絡会 (ハッ場ダムをストップさせる群馬・茨城・埼玉・千葉・東京の会
ムダなダムをストップさせる栃木の会) 利根川流域市民委員会 霞ヶ浦導水事業を考える県民会議 他